

令和5年5月24日

令和5年度学校関係者評価報告書

静岡県美容専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人静岡県美容学園静岡県美容専門学校学校関係者評価委員会は、令和4年度自己評価報告書に基づいて学校関係者による提言書の提出を受けましたので、以下のとおり報告します。

1 実施日

令和5年5月24日（水）午後1時30分～午後3時00分

2 実施内容

授業参観、学校報告会及び学校関係者評価委員会

3 学校関係者（評価者）

花崎 雅世氏（静岡県立静岡商業高等学校教諭）

青木 達之氏（静岡県立駿河総合高等学校教諭）

有渡山正和氏（卒業生 ヘアーサロン RUDO）

青島 圭子氏（昼間課程2年生保護者）

4 報告者（補足資料作成者）

校長 望月ひとみ

事務主任 佐々木理人

総務担当 園田 環

5 参加者

理事長 提坂 直

6 評価会議の概要

<はじめに>

本校は、学校の質保証と向上を目指して「学校自己評価」を行っている。具体的には、教職員による「自己評価」と、「学生の学校満足度調査」・「学生の授業アンケート調査」を行い、学校が抱える課題の明確化と改善を図ってきた。

本校では、この「自己評価」に加えて、組織的で継続的な教育活動の改善とキャリア教育の充実を一層図るため、外部の有識者による「学校関係者による評価会議」を開催して、指導・助言や提言を頂いている。

当日は、初めに授業参観で学生の取組状況を見ていただいたのち、学校からの報告、評価会議の順に進めた。会議では、学校の特徴的な取組などを各担当から説明した後、評価者から意見、改善すべき点、提言等を伺った。

7 授業を見学しての感想

- ・着付けなど様々な技術を学んでいることを知ることができた。
- ・生徒が生き生きと授業に取り組んでいる姿が見受けられた。
- ・担当教員の指示をしっかりと聞く姿勢が見受けられた。
- ・挨拶ができていた生徒が多かった。マナー教育が継続してできていると感じた。
- ・挨拶について一部の生徒は受身だったため、積極的な挨拶ができれば良いと感じた。
- ・生徒が集中して授業に取り組んでいた。
- ・高校の卒業生が専門学校に進学して、授業に対する姿勢を見て成長を感じることができた。
- ・人を幸せにする職業に就くという目標に向かって、楽しそうに生き生きと授業を受けていた。
- ・かつては国家試験対策が中心となっている授業から、様々な技術を学ぶことができる授業に変わってきていることが感じられた。
- ・コース選択の授業は生徒のモチベーションになっていて、魅力的に感じられた。生徒が楽しく学んでいる姿が印象的だった。
- ・生徒自身が学びたいことを学べる体制がとれていることが感じられた。
- ・教室内の掲示物を見学し、丁寧な指導をしていることが感じられた。
- ・就職して社会に出るまでに学生生活で身に付けられるマナーを学ばせようとしてくれていた教員の姿が見受けられた。

8 学校関係者による意見、提言等

(1) 教育理念・教育目標

(学校関係者の評価・提言)

- ・特になし

(2) 教育活動

(学校関係者の評価・提言)

- ・来校者に対しての挨拶が積極的にできていて、印象が良かった。
- ・生徒自身の将来の希望に向かって、授業に取り組んでいる姿が見受けられた。
- ・教員が細かく丁寧に指導していることが感じられた。また、掲示しているだけでなく教員が言葉を発して指導していることが感じとれた。
- ・国家試験の合格率も検定試験の合格率も高い数値で推移していることは評価できる。
- ・国家試験不合格者へのフォローを学校が積極的に取り組んでいることは評価できる。
- ・スマートフォンを利用した学習アプリの効果的な活用を進めてほしい。
- ・10代から20代の男性が脱毛やメイクなどの美容に高い興味を持っている。男性が美容について質問できるようメンズ美容サロンに特化した技術者が不足していると感じている。専門学校でもメンズ美容サロン技術を取り入れることで特色して打

ち出すことができると考える。

- ・受け身である現代の生徒に、奉仕の心を学ばせるよう継続して教育してほしい。

(3) 学生受け入れ

(学校関係者の評価・提言)

- ・近隣に充実した設備をもつ同分野の専門学校が開校するにあたり、静岡県美容専門学校の特徴を明確に打ち出すことが必要になってくる。
- ・高校生が学校の選択を誤らないような指導を高校は行うにあたり、専門学校のオープンキャンパスなどの充実を図ってもらいたい。
- ・TVCMにおいては、サウンドロゴを継続して利用していくことが必要である。
- ・10代はTVの視聴が減少傾向にあるので、SNSを積極的に活用し更新を頻繁におこなうことが高校生に向けてアピールするうえで重要である。
- ・SNSの活用やSNSへの投稿は同年代である在校生が行うことが高校生に向けてアピールする力があるので、在校生に協力してもらうことが望ましい。

(4) 教職員組織

(学校関係者の評価・提言)

- ・教員数が十分におり、丁寧な授業ができていると見受けられた。

(5) 施設・設備等

(学校関係者の評価・提言)

- ・生徒が図書室を積極的に利用できるよう、パソコンの設置などの設備の充実が必要だと考える。
- ・図書の積極的な利用のため、高校では各学級に図書を置いて利用促進を図っている。

(6) 学生生活支援

(学校関係者の評価・提言)

- ・就職において挨拶は重要な事項であるので在学中から身に付けておく必要がある。
- ・国家試験に不合格となった場合でも「国家試験合格保証制度」により不合格者のサポート制度があることが評価できると感じられた。
- ・卒業後も美容室で技術学ぶだけでなく、追加で授業料を納入しても良いと思うので、学校が卒業生に対して技術指導するなど、卒業後も専門学校で学べる環境を検討してもらいたい。
- ・美容技術のコンテストに積極的な参加し、結果が残すことができれば、卒業後にその結果が美容室運営に必要となってくることがあるので、生徒に参加を促したほうがよい。

(7) 管理運営

(学校関係者の評価・提言)

- ・特になし

9 自由意見

- ・静岡駅前に開校する他の美容専門学校と比較して、静岡県美容専門学校に付加価値があるものを構築してほしい。
- ・学校満足度調査において、80%が「満足」「ほぼ満足」であるということは、生徒が満足していると感じられ評価できる。

20%が「不満」「やや不満」という回答をしている部分について、原因をできるだけ特定し改善できる部分は改善を行っていただきたい。
- ・商業施設跡地に専門学校が進出してきているように見受けられる。
- ・男性をきれいにする男性技術者の養成を検討することが必要である。
- ・新型コロナウイルスが収束に向かうなかで、社会貢献やボランティア活動を行っていただきたい。
- ・専門職大学への移行については継続して情報を収集したほうがよい。
- ・保護者に対しても学習アプリでの指導を進めている情報を提供したほうが家庭でも学習アプリの利用を進言できるので保護者に対しても情報提供を行ったほうがよい。